

漢字の組み立てと形

🔍 たしかめ --- 🗣️ いっしょに --- ✎ やってみよう (3もん)

🚩 きょうの
めあて

部分の大きさや位置に気をつけて、形を整えて書こう

🔍 まず、たしかめよう

- へん（左）は細く、つくり（右）は広く ...側・録・漁
- かんむり（上）は平たく広く、下の部分をおおうように ...芽・菜
- によ（しんによ）は、右の部分の下を ささえるように長くはらう ...達・辺

🗣️ いっしょにやってみよう

れい 「側」の「イ」は、どんな大きさを書く？

- ① へんは左の部分。 ▶ ② 右の部分より細く。 ▶ ③ 細く、たて長に

✎ やってみよう

♡ できたところまででOK

① 「芽」の「+」の書き方でよいのは？

- ☐ 平たく、下の「牙」をおおうように ☐ 小さく、左によせて

② 「達」の「辶」の最後の画は？

- ☐ 右の部分の下をささえるように、長くはらう
☐ 短く止める

③ 手本を見て、部分の大きさに気をつけて書こう。

側 芽 達

答え 1. 平たく、下の「牙」をおおうように 2. 右の部分の下をささえるように、長くはらう 3. （書けたらOK）

漢字（建物）

たしかめ いっしょに やってみよう（3もん）

きょうの
めあて

建物に使う漢字「建・倉・城・席」を読んで書こう

きょうの漢字

建
音 ケン
訓 た(てる)・
た(つ)
たてもの た
建物・建てる

倉
音 ソウ
訓 くら
そうこ こめぐら
倉庫・米倉

城
音 ジョウ
訓 しろ
しろ じょうかまち
城・城下町

席
音 セキ
せき しゅっせき
席・出席

いっしょにやってみよう

れい 「たてもの」を漢字で書くと？

① 「建」と「物」
を合わせる。

② 「建物」には
送りがないをつけない。

③ 答え 建物

やってみよう

♡ できたところまでで OK

① 線の漢字の読みがなを書こう。

(1) 家を建てる。

(2) 倉庫に荷物を運ぶ。

(3) 山の上の城。

(4) 電車で席をゆずる。

② □に漢字を書こう。

(1) 新しい 物。

(2) の中。

(3) 下町を歩く。

(4) 自分の にすわる。

③ () に合う漢字に○をつけよう。

(1) 家を (建てる・立てる)。

(2) 計画を (建てる・立てる)。

答え

1. (1) た (2) そう (3) しろ (4) せき

2. (1) 建 (2) 倉 (3) 城 (4) 席

3. (1) 建てる (2) 立てる

要約しよう② くわしい例をはぶく

🔍 たしかめ --- 🗣️ いっしょに --- ✎ やってみよう (3もん)

🚩 きょうの
めあて

要約するとき、くわしい例や説明をはぶいて短くしよう

🔍 読む文章

- ① 米づくりは、春から秋まで、いくつもの作業を順に進めていく。
- ② 春には、種もみから^{なえ}苗を育てる。^{なえ}苗が育ったら、水を入れた田に植える。これを田植えという。
- ③ 夏の間は、水の量を調整したり、^{ざっそう}雑草を取ったりする。
- ④ 秋になり、^{いね}稲が実ると、^{いね}稲かりをする。

🗣️ いっしょにやってみよう

れい 要約ではぶいてもよいのは？

- ① 大事な^{じゅんじょ}のは作業の順序。 ➡ ② 「これを田植えという」などの文。 ➡ ③ くわしい説明

✎ やってみよう

♡ できたところまででOK

① 要約に入りたい言葉は？

☐ ^{なえ}苗を育てる・^{いね}田植え・^{いね}稲かり

☐ 水を入れた・^{ざっそう}雑草

② ②の^{だんらく}段落を短くしたものとしてよいのは？

☐ ^{なえ}春に苗を育てて、田植えをする。

☐ ^{なえ}苗が育ったら、水を入れた田に植える。これを田植えという。

③ 文章全体を、四十字くらいで要約しよう。

答え

1. ^{なえ}苗を育てる・^{いね}田植え・^{いね}稲かり
2. ^{なえ}春に苗を育てて、田植えをする。
3. 例：米づくりでは、春に^{なえ}苗を育てて^{いね}田植えをし、夏に^{いね}稲を育て、秋に^{いね}稲かりをする。

こじせいご ぎよふ り 故事成語「漁夫の利」

たしかめ いっしょに やってみよう (3もん)

きょうの
めあて

こじせいご ぎよふ り
故事成語「漁夫の利」の元になった話を読んで、意味を知ろう

元になった話（「戦国策」という昔の本より）

しぎという鳥が、口を開けていた貝の身をつついた。貝は からをとじて、しぎのくちばしをはさんだ。しぎと貝は、どちらも はなさずに あらそった。そこへ通りかかった漁師が、しぎと貝を両方とも つかまえてしまった。

いっしょにやってみよう

れい いちばんとくをしたのは だれ？

① しぎと貝は
あらそっていた。

② 漁師が両方をとった。

③ 答え 漁師

やってみよう

♡ できたところまでで OK

① 「漁夫の利」の意味は？

☐ 二人があらそっている間に、ほかの人が苦勞せずにとくをする

☐ 魚をたくさんとる

② 「漁夫の利」に合うのは？

☐ 二ひきの犬がボールをとり合っている間に、ねこがボールをくわえていった。

☐ 漁師が朝早く船を出した。

③ 話の中で、しぎと貝が はなさなかったのは なぜだと思う？ 考えて書こう。

答え

1. 二人があらそっている間に、ほかの人が苦勞せずにとくをする

2. 二ひきの犬がボールをとり合っている間に、ねこがボールをくわえていった。

3. 例：どちらも、先にはなしたら負けと思ったから。

俳句を読もう② 人物の様子

Q たしかめ --- ㊦ いっしょに --- ㊧ やってみよう (3もん)

P きょうの
めあて

はいく

俳句に出てくる人や生き物の様子を想像しよう

そうぞう

Q 読む俳句

名月を 取ってくれろと 泣く子かな (小林一茶)
雪とけて 村いっぱいの 子どもかな (小林一茶)

㊦ いっしょにやってみよう

れい 一つ目の俳句で、子どもは何をしている？

① 「取ってくれろと泣く」。

② 名月(月)を
取ってとねだっている。③ 答え 月を
取ってと
泣いている

㊧ やってみよう

♡ できたところまでで OK

💡 「くれろ」は、昔の言い方で「くれ」という意味。

① 一つ目の俳句の季語と季節は？

☐ 名月・秋☐ 名月・冬

② 二つ目の俳句で、子どもたちが外に出てきたのはなぜだと考えられる？

☐ 雪がとけて、外で遊べるようになったから☐ 雪がふってきたから

③ 二つの俳句から一つ選び、思いうかぶ様子を書こう。

答え

1. 名月・秋 2. 雪がとけて、外で遊べるようになったから
3. 例：雪がとけて、村のあちこちで子どもたちが元気に遊んでいる様子。